

ヨシ刈りボランティア ニゴロブナ・ワタカ放流式



12月7日(土)、安土町西の湖(近江八幡市)にて、滋賀県様・滋賀県水産振興協会様・淡海環境保全財団様のご協力のもと、「ヨシ刈りボランティア」と、琵琶湖の固有種で絶滅危惧種の「ニゴロブナ・ワタカ」の放流を実施しました。

当日は、当行役職員(東大津、彦根、八日市、水口エリア、関連会社)とその家族、協働いただいた企業(アヤハディオ様、損保ジャパン日本興亜様、敷島住宅様、三菱UFJモルガン・スタンレー証券様、CoCo 壱番屋様)の皆さま、総勢442名が参加。

ヨシ刈りでは、大人の背丈以上に伸びたヨシを鎌で刈り取り、紐で束ねて積み上げました。放流式では、バケツに入ったニゴロブナ・ワタカの稚魚を、大きく育つよう願いを込めて琵琶湖に放ちました。終了後は、獣害対策にも貢献されているCoCo 壱番屋様の鹿肉カレー等を参加者全員で美味しくいただきました。当行はこれからも琵琶湖の生態系保全に積極的に取り組んでまいります。

ニゴロブナ 200匹、ワタカ
1,000匹の稚魚を放流。
大きくなって帰ってきてね!



刈り取ったヨシは、当行の名刺に生まれ変わるよ!これらの活動は、SDGsのゴール6「安全な水とトイレを世界中に」や、ゴール15「陸の豊かさを守ろう」の達成に貢献しています。



多くのヨシを
刈り取りました!

